

1. 公共料金値上げに思う
2. 一考を要する第二外国語
3. 第三京浜国道開通に寄せて
4. 魚が住める都市内河川に



1. 国民経済の規模の拡大とともに、人や物の輸送需要は増大し、生活水準の向上とともに水道使用量は増える。

国鉄の長期計画はこのような需要に対処するため立案され充足したものであり、東京都の水道施設の拡張整備計画も水需要の増大を背景として立案されている。

このような公共的施設の整備には相当の資金が必要であるが、最終的には利用者が負担することとなるべきものである。このようなことから、国鉄では運賃値上げを申請し、東京都では水道料金の値上げ案を都議会に提出した。運賃値上げは一たんは2月15日から実施と内定したが、その後の情勢では若干遅れそうであり、水道料金の方はどちらともいえない線で値上げ可決された。

公共料金の値上げはだれしも望むものではなく、おのおのの事業の合理化によって極力値上げを回避してほしいが、必要な公共的施設の整備をこのようなことで遅らせてしまうことは何としても解せないことである。 [J]

2. 大学で必修としている外国語は、通常英語とドイツ語ということに相場がきまっている。理工科系学部では特にこれが多いように思われる。英語は欠かせないにしても今どきドイツ語が主体になっているのは時代遅れだ。もっとも大学ではフランス語、ロシア語など開講しているところもあるが、学生が選択するのはドイツ語となってしまう。世の大勢から見てもロシア語がそろそろドイツ語に代ってもおかしくはない。若い人達はどうか考えるであろうか。私もロシアの工学書を取りよせ、おそまきながら読み始めたが、今まで余りお目にかからなかった調査・実験・研究資料が目につく。

急にドイツ語をロシア語に代えるといっても、教育の問題もあり簡単にいくとは思えないが、学生諸君も大学側も考慮すべき問題ではなからうか。 [S]

3. 第三京浜道路が昨年12月19日供用を開始したニュースは、まだ耳新しい。完全立体交差のこの道路は、往復6車線のえがくダイナミックな線形とともに、東京近辺に誕生した本格的なハイウェイとして、巷間の話題をさらったようだ。全長16.6kmのこのハイウェイは、中央分離帯にしゃ光板を設け、オーナーの事故防止に留意しているほか、随所に自動電話を設ける等、利用者によりよい走行を約束する設備がなされている。名神高速道路で夜明けを迎えた日本の高速道路も、世界に冠たる<悪路日本>の汚名返上のため努力する関係技術者、および関係者の熱意に守られて、ようやく小学校卒業の域まで成長してきたように見受けられる。今後続々と出現するであろう高速道路群、それもできうるならば最低6車線は欲しい……を夢みるとともに、第三京浜開通初日に<ハイウェイ5分で、出口に40分>と悪口をいわれたような明白な未解決要点をさらけ出さずにすむ、一貫した建設行政を望みたい。 [E]

4. 立春もすぎ、そろそろ観光シーズンの幕あきである。このところ、観光につながる建設工事は時代の脚光を浴びて、全国到るところで意欲的に進められている。反面、地味な環境整備に関する諸施設の建設はどうであろうか。問題点を汚水排除、汚水処理にしばっても、あまり積極的に行なわれているとは思えない。都市計画の先見性とその卓越さを誇る名古屋市においても、市内主要水域の汚濁の状況は憂うつきのきわみである。しかし、幸い名古屋市においては、昭和40年度から一部都市内河川の清浄化を最終目的とする、沈泥のしゅんせつ工事がわずかながら開始されている。41年度以降の予算増を望むとともに、下水道施設の正しい整備、工場廃水の水質の規制、別の河川からの希釈水の放流など、いずれも困難な事業ではあるが、総合的に有効適切な処置を早期に期待したい。他の都市でも大同小異であろうが、せめて都市内の主要河川には、沙魚<sup>さぎ</sup>くらいは生存し得る水質を保持せしめたいものである。 [S]